

新しい蓮田の未来を創ります!

市民クラブ未来

蓮田市議会報告

2024.1月号
Vol.3

会派代表

菊池 よしひと

建設経済委員会委員長
議会運営委員

3期

蓮田市大字蓮田1032-5 TEL・FAX:048-768-8381

斎藤 斉

民生文教委員会委員
埼玉斎場組合
議会議員

2期

蓮田市東1-4-21 TEL・FAX:048-768-4308

武藤 やすし

民生文教委員会委員
蓮田白岡衛生組合
議会議員

1期

蓮田市大字黒浜3110-35 TEL・FAX:048-764-2662

副議長

はた くにお

総務委員会委員
(副議長は慣例により会派に
属さないことになっていますが、
本会派設立の経緯から共に
報告させていただきます。)

2期

蓮田市馬込1-350-8 TEL・FAX:048-764-0998

あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より私たち**市民クラブ未来**の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

昨年5月の会派結成以来、私たちは、情熱・経験・実行力のもと、市民の皆様の目線に立ち、市民の声を取り入れ、市民のための活動を行ってまいりました。

市の行財政問題に正面から向き合い、問題解決のため提案・提言を行い、古い蓮田の慣習を突き破って新しい蓮田市の未来を創るため、そして、蓮田の市政がもっとわかりやすく市民に見えるようし、「**蓮田は変わっていくな、いい街になるな**」と皆様に実感してもらえるよう、引き続き活動してまいります。

市民の皆様の声を力に変え、市が抱える課題解決に正面から全力で取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

※公職選挙法第147条の2により、年賀状、その他これに類する挨拶状を出すことは禁止されていることから、個別の年賀状でのご挨拶は控えさせていただいておりますので、ご了承ください。

市民世論調査を実施しました。

市民クラブ未来を含む蓮田市議会議員有志6名により、サブアリーナ建設や市政に対する市民のご意見を伺うために、**昨年11月に市民世論調査を実施し、990名の方からご回答をいただきました**。ご協力ありがとうございました。この調査結果によると、サブアリーナ建設の優先度は、他の行政課題に比べてかなり低いという結果でした。これらを基に昨年12月議会で一般質問を行いました。調査結果を含め詳細は本号の2ページ目以降に掲載しました。

中央公民館の駐車場の有料化について

中央公民館の西側にある駐車場は、現在の整備完了後は市営車場として有料化されます。12月議会で提出された条例案では、「20分を超え1時間までは200円、以後30分までごとに100円を加算した額」などとなっています。駐車料金の減免については市長が規則を定めるとしていますが、西口行政センターと同じだとすれば、**無料時間は1時間まで**になります。私たち**市民クラブ未来**は、**①少なくとも2時間までは無料、②障がい者の減免、について検討する旨の附帯決議を提出しましたが、否決されてしまいました**。(個別議員の賛否は2月号市議会だよりをご覧ください。)



令和5年12月議会での一般質問

令和5年12月蓮田市議会定例会の一般質問は、次の3名が行いました。概要は以下のとおりですが、菊池よしひとの一般質問のうち「サブアリーナ建設問題について」と武藤やすしの一般質問については、関連があるのでまとめて2ページ目以降に掲載しました。

菊池よしひとの一般質問

- サブアリーナ建設問題について
- 消防広域化の検証について(内容は省略)

武藤やすしの一般質問

- 令和6年度予算編成方針について
- 行政への民意の反映について

はたくにおの一般質問

1.障がい者施策の向上について

(1)精神障がい者施策について

市内の精神障害者保健福祉手帳の所持者は、平成31年3月末が551人、令和5年3月末が698人と、この**4年間で約27%増**となっています。また、精神通院医療(医療費補助)の制度の利用者は、本手帳を所持していない人も含め令和5年3月末で1,332名であり、精神的な疾患を抱えている方は多い状況といえます。そんな中で、精神障がい者等からは、①相談支援体制に関すること、②医療費の補助支援に関すること、③気軽に通える場所の提供や日中の活動場所の確保など、について市へ要望がなされています。

市としては、③の要望に関し、以前市内にあった「風」という施設が閉鎖されたことにより、障害福祉サービスを利用していない精神障がい者等の日中の活動場所が少なくなってしまったこと、また類似した役割を持つ宮代町にある「地域活動支援センター」は、**蓮田市から通いづらい**ことが課題であると認識しているとのことでした。そこで、次の質問をしました。

質問 「地域活動支援センター」を市内に新設することは是非とも必要と考えるが。

答弁 現在圏域内にもう1か所設置できるか関係市町と検討しているところです。蓮田市内に設置できるよう、引き続き協議を一生懸命進めたいと考えております。

(2)知的障がい者の入所施設の建設促進について

本件については、令和4年12月議会で木佐木議員が一般質問を行いました。その後の進捗状況を質問したところ、県は県立小児医療センター公舎を**令和5年度において7年度までに解体する予算措置を行った**ということでした。そこで、次の質問を行いました。

質問 公舎の解体後において遅滞なくその跡地利用ができるよう、市は関係者と協議・調整すると考えてよいか。

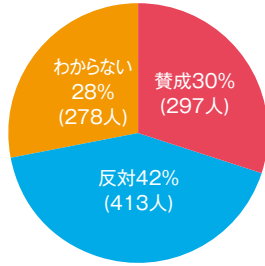
答弁 現在県と一生懸命調整しているところです。また、土地利用が可能となった際には、入所施設整備に向けて積極的に、取り組んでまいりたいと考えています。

市民世論調査の概要

蓮田市議会議員有志6人(木佐木照男、菊池義人、齋藤齊、中里幸一、秦邦雄、武藤康史)は、市民の方々の蓮田市政や議会に対する思いを議員としてきちんと把握し、執行部との議論にも反映させるべきと考え、今回の世論調査を実施することとしました。調査は、社会的にも公正性・客観性が高く、また世論調査で実績がある埼玉大学発のベンチャー企業である「社会調査研究センター」に委託し、18歳以上の蓮田市在住者に令和5年11月18日午前9時からインターネットメールを配信して**990人から回答**を得ました。

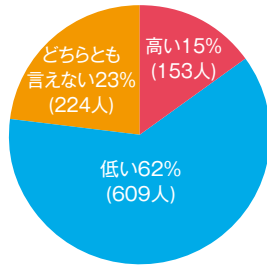
問1

蓮田市は総合市民体育館(パルシー)の大規模改修に合わせてサブアリーナを新設することを計画しています。あなたは、サブアリーナの建設に賛成ですか。



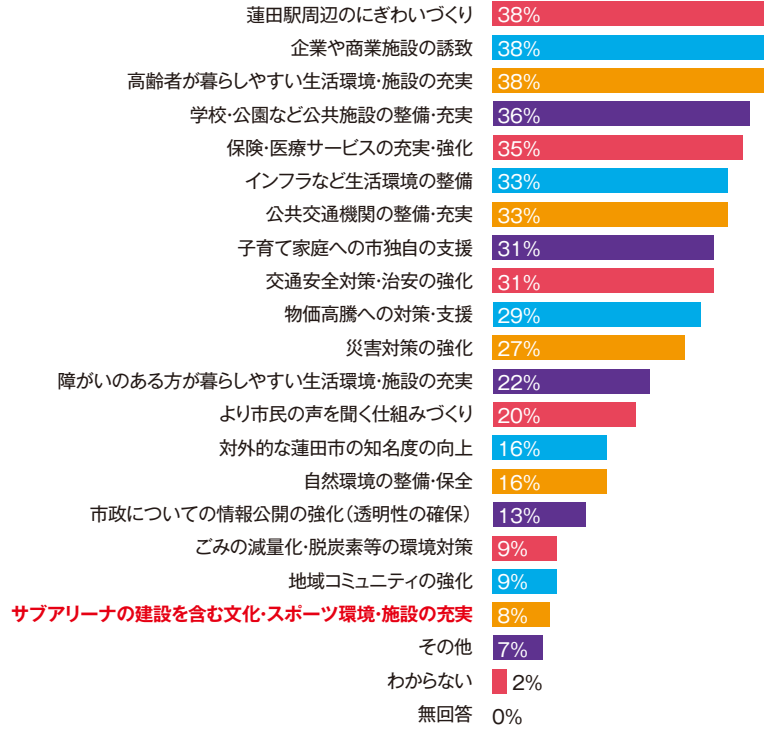
問2

蓮田市は総合市民体育館の大規模改修費用に約19.7億円、サブアリーナの建設費用に約12.4億円を見込んでいます。あなたは、蓮田市の行政課題の中でサブアリーナの優先度は高いと思いますか。



問3

次に挙げる蓮田市の行政課題の中から、あなたが優先度が高いと思うものを選んでください。(回答はいくつでも)



12月議会では、武藤やすしと菊池よしひとが協力して、サブアリーナ建設に関する一般質問を行いました。市議会議員有志が公正性・客観性の高い第三者機関に委託して行った市民世論調査を通しての市民の声を市はどのように受け止めるのか、今後市の財政の不足が見込まれるなかでどのように予算を確保するのか、市民目線から以下のことについて質問をいたしました。(実際の質問の順番とは異なります)

財政面から検証するサブアリーナ建設

【事業予算について】

質問 サブアリーナ建設にかかる費用及び補助金などの財源、さらに市が令和6年度に自由に使えるといわれる一般財源はどのくらいと想定しているのか。

答弁 財源の一部として、文部科学省の学校施設環境改善交付金や独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金の活用を見込んでます。その他の財源として、市債(学校教育施設整備事業債)の借入、公共施設等整備基金の充当を想定しています。

【公共施設等整備基金の取り崩しについて】

質問 サブアリーナ建設資金を地方債の起債や公共施設等整備基金の取り崩しで賄うことは適切でないのではないか。

答弁 取り崩しが必要となれば議会に諮り実行することになります。

これまで様々な予算要求について「大事なことは思うが予算がなくてできない」とのやりとりが繰り返され、市民の願いが聞き入れませんでした。その一方で余った予算をコツコツ「基金」に回してきたわけで、「何があんでもサブアリーナを作る」ことを強行し、その財源としてを安易にこれまで積み立ててきた「将来への備え」を取り崩すことに求めることは、決して市民の気持ちに合致するものではないと考えます。

質問 サブアリーナの事業化の方法についての検討は。

答弁 パルシーの大規模改修が急がれること、PFI等の民間活用を行うには長期間の検討が必要となることから、従来手法による建設を行うことが良いと考えて事業を進めています。

質問 他市では事業手法について慎重に丁寧に進めるとしている。今一度、市民への説明を丁寧にやる意味でも慎重な再検討が必要なきではないか。

答弁 工事中の閉館期間や費用の圧縮を考えると、パルシー改修との同時並行が良いとの結論になりました。総合的な運営のあり方については今後も検討します。

物価高騰等により市の財政は逼迫してきています。サブアリーナ建設をそのまま進めることで学校施設等の改修や市民にとって優先度の高い政策を実行することが遅れる、できなくなるという現実をしっかりと明らかにし、声を上げていくことが重要と考えます。

質問 令和6年度に予定されている環境学習館建設工事、黒浜小学校給食棟整備事業、蓮田中央小学校校舎整備事業に加え、にパルシー大規模改修工事、サブアリーナ建設工事を加えた金額はどのくらいと考えているか。

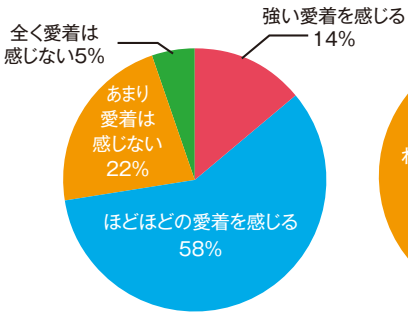
答弁 各事業の令和6年度の年割額は、環境学習館建設事業が1億5,775万円、黒浜小学校給食棟整備事業が2億5,739万円、蓮田中央小学校校舎整備事業が4億7,398万円です。3事業の合計は8億8,912万円です。(パルシー改修をサブアリーナ建設費用については答弁無し)

広報はすだ(令和4年8月号)によれば、パルシー大規模改修費は17億~18億8400万円、サブアリーナ建設費9億4400万~10億4700万円です。一方で、令和3年度からの10年間で公共施設の維持管理・更新等の費用が約75億円不足すると見込まれています。

※参考までに令和5年度当初予算では普通建設事業費約15億5千万円です。

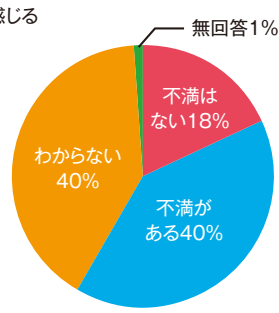
問4

あなたは、蓮田市に愛着を感じますか。



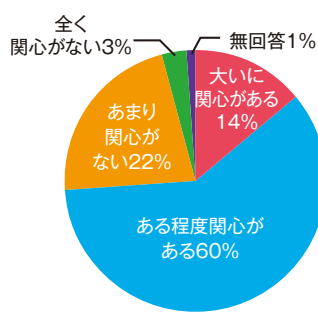
問5

あなたは、蓮田市の行政に満足していますか。



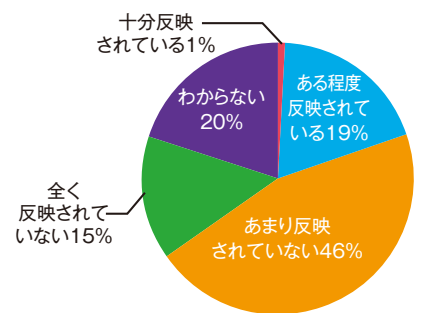
問6

あなたは、蓮田市の予算や政策に関心がありますか。



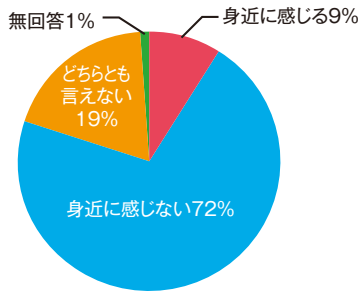
問7

あなたは、蓮田市政に市民の声が反映されていると思いますか。



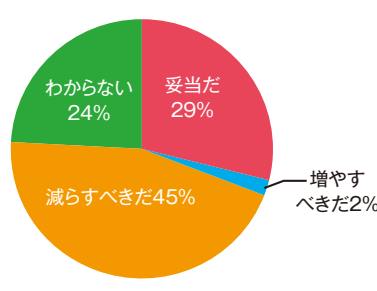
問8

あなたは、蓮田市議会・議員の活動を身近に感じますか。



問9

蓮田市議会の議員定数は20人です。あなたは、これをどう思いますか。



問10

蓮田市政に対するあなたのご意見を自由にお書きください。

「557名の方にご記入いただきました。」

問11

蓮田市議会・議員に対するあなたのご意見を自由にお書きください。

「514名の方にご記入いただきました。」

市民の声に寄り添った市政運営を

【今回の世論調査の結果について】

質問 サブアリーナ建設に賛成するのは市民の30%（反対は42%）という事実をどう考えるか。

答弁 調査の精度が不明であり、一つの民間調査の結果として受け止めさせて頂きます。初めて見る調査方法であり他の調査との整合など精査が必要と考えています。市は世論調査に示された結果を「多くの市民の気持ち」としては認めない考えです。では市としてこれに対抗する「民意」を自ら調査し持っているのかといえばそれを証明する根拠は全く示していません。

質問 市民世論調査の結果では、サブアリーナ建設の優先順位は19項目中19位と低い。市のサブアリーナ建設の優先順位はどのように考えているのか。

答弁 市としては、どの政策も重要であると考えています。

税収や国・県からの交付金からの歳入の見込額から、市として執行できる事業が限られてしまいます。道路改良及び緑地の管理など多くの要望書が提出されていますが、予算不足を理由に執行されていない事業が多くあります。市として明確に予算配分の優先度を示すべきです。

質問 副市長に聞きますが、歳入がある程度決まっているなかで令和6年度事業を執行するにあたりどのように予算執行する事業を決めるのか。

答弁 令和6年度予算は編成方針にしたがい、現在継続中の事業を確実に進めるとともに、景気の動向や、社会の変化に適切に対応しながら多様化する市民ニーズを的確に捉え、予算編成を行います。

しかしながら新たな箱物であるサブアリーナ建設は、令和6年度以降の各事業に大きく影響を与えることが予想されます。緊急性を要するパルシー大規模改修と新たな箱物であるサブアリーナ建設は分けて考える必要があります。

質問 給食室・学校体育館エアコンや他市に比べて遅れているトイレの洋式化を後回しにして、これらの事業よりも先に「サブアリーナを建設する」ことについてどう児童や保護者に話すのか。教育長に質問します。

答弁 トイレについては計画的に進めてきました。給食室のエアコン設置に関しても黒浜小学校改築に伴い設置します。他校についても計画的に設置していきます。体育館のエアコンも計画的設置にむけて、検討しています。どちらが優先的にと考えるべきものではないと考えています。

市はサブアリーナを令和6～7年度に建設する予定です。給食室・体育館のエアコン、トイレの洋式化は計画的に進める、というのは「後回しになるものが多く出る」ということです。端的に言えばサブアリーナ建設が最優先となっています。

質問 「市民の声の多数」がどこにあると考えているか。

答弁 建設建設についての設計予算を議会で議決いただいています。また建設検討会議でのご意見が市民の声と考えており、それらをもとに事業を進めているところです。市が「賛成の民意を得ている」と強調するパブリックコメントやサブアリーナ建設等の検討意見は、「賛成する人々の声を集めただけ」であって、それらの声が「市民の多数」であるとの検証は何ら行われていません。

【市政の優先順位について】

質問 従前から市として商店街等地元と競合する商業施設の誘致は行わないとしているが、競合に留意しつつ積極的に企業誘致を進めることこそ重要ではないか。

答弁 地元と調和のとれた発展が重要と考えており、進出の話があれば対応します。

これからの街の賑わいづくりについて市としての具体的な構想・ビジョンが示されていません。市民が最も求めるものを市が積極的に作っていく、誘致しようとする姿勢もありません。

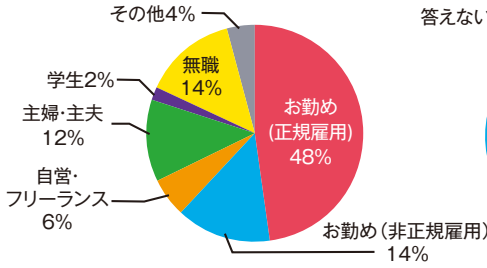
質問 具体的な蓮田が誇れる産品など切り札に欠けるのは否めない。市長の号令のもとに組織的な取り組みが必要ではないか。

市長答弁 シビックプライドを作り上げていく上でまだ不足という指摘と思うが、蓮田には誇れるものの種がたくさんあります。これをどう具体的に結実させていくか多くの声や知恵をいただきながら実現していきたいと考えています。

蓮田市での検討は関係者や身内が中心になりがちで、外部の知恵を取り入れることには消極的です。賑わいを作るには「蓮田に来てくれる人々」の声や行動をしっかりと掴んで外に誇れるものを作っていく努力がもっと必要です。

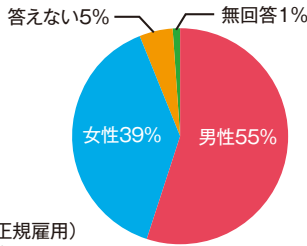
問12

あなたの職業を教えてください。



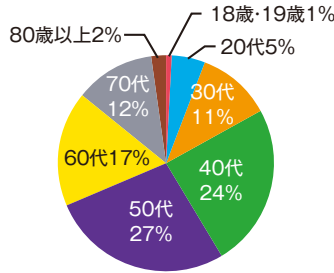
問13

あなたの性別を教えてください。



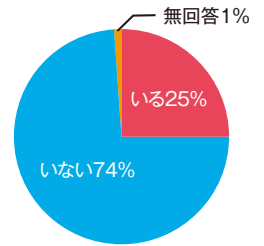
問14

あなたの年代を教えてください。



問15

高校生以下のお子さんがいらっしゃるかどうか。



サブアーナ建設に関する市民クラブ未来の見解と主張

サブアーナ建設については、令和4年3月議会でパルシー改修工事とセットにした設計予算を議決した際に「建設については広く市民の意見を求めること」との内容を含んだ付帯決議がなされましたが、その後市が行ったのはパブリックコメントとサブアーナ建設等検討会議での意見収集でした。これは「単に賛成者の声を集めただけ」なので、私たちは「本当の民意」を知ることなしに建設を進めるべきでないと考え、共感いただいた議員と共に埼玉大学に関連がある調機関に委託し市民世論調査を行いました。この結果に対し、市は「一つの民間調査の結果に過ぎない」「精度がどうなのか」としてこれを多数の市民の声を認めようとしていません。令和6年度予算の策定に向け、市民クラブ未来としてはサブアーナ建設について以下のように考えます。

- 1.安直に市債の発行や将来の公共施設改修のために積み立てた基金の取り崩しを行ってサブアーナ建設を進めることは、市民の将来資産を毀損するものであり認められません。
- 2.市民生活や子どもたちの学校生活をより良くする施策を後回しにするような順番とすべきではなく、サブアーナ建設は一旦足を止め、民間活力の活用を含めた歳出の平準化を実現できる最適な事業化手法を検討すべきです。
- 3.もし我々が行った市民世論調査を認めないのであれば、市として今回世論調査と同等以上の統計学的根拠を有する「サブアーナ建設に関する多数市民の声」を収集・公表する責務があると考えます。
- 4.サブアーナの建設自体を中止しろとの考えには立っていませんが、その建設は最も市民が理解し納得する時期・方法で行うべきです。

執行部に寄った行動をする議員が多い現況において、なし崩し的にサブアーナ建設の支出がなされ、事業が進むことに待たされたかけられるのは、市の政策のあり方に關心と疑問を持っていただけた市民の皆様の声しかありません。是非とも、さまざまな形で声を上げていただけますよう党派として心よりお願い申し上げます。

市長への手紙
(メール)

市に直接みなさまの声
を届けることができます。



クロス集計表 サブアーナ建設についての賛否等・建設の優先度vs優先度が高いと思う行政課題

問2	市の行政課題の中でサブアーナの優先度は高いと思うか	問1 サブアーナの建設に賛成か					問2 市の行政課題の中でサブアーナの優先度は高いと思うか			
		計	賛成	反対	わからない	無回答	高い	低い	どちらとも言えない	無回答
問2	高い	153人	83人	53人	17人					
	低い	609人	93人	349人	166人	1人				
	どちらとも言えない	224人	121人	9人	94人					
	無回答	4人		2人	1人	1人				
	計	990人	297人	413人	278人	2人	153人	609人	224人	4人
問3	蓮田駅周辺のにぎわいづくり	38%	41%	40%	34%		37%	39%	38%	
	企業や商業施設の誘致	38%	40%	43%	28%		33%	39%	37%	25%
	高齢者が暮らしやすい生活環境・施設の充実	38%	37%	39%	36%	50%	36%	38%	39%	25%
	学校・公園など公共施設の整備・充実	36%	40%	36%	32%		44%	36%	30%	
	保険・医療サービスの充実・強化	35%	37%	34%	34%		31%	35%	38%	25%
	インフラなど生活環境の整備	33%	32%	35%	32%		33%	36%	26%	
	公共交通機関の整備・充実	33%	32%	33%	33%	50%	29%	34%	33%	
	子育て家庭への市独自の支援	31%	31%	30%	32%		31%	31%	29%	25%
	交通安全対策・治安の強化	31%	32%	31%	28%	50%	33%	31%	28%	50%
	物価高騰への対策・支援	29%	29%	31%	29%	50%	27%	32%	26%	
	災害対策の強化	27%	26%	28%	25%		26%	26%	27%	50%
	障がいのある方が暮らしやすい生活環境・施設の充実	22%	22%	21%	23%		22%	20%	26%	
	より市民の声を聞く仕組みづくり	20%	13%	27%	16%	50%	18%	22%	15%	75%
	対外的な蓮田市の知名度の向上	16%	20%	17%	10%		18%	15%	16%	
	自然環境の整備・保全	16%	15%	17%	14%		17%	17%	13%	
	市政についての情報公開の強化(透明性の確保)	13%	6%	17%	14%		6%	15%	12%	25%
	ごみの減量化・脱炭素等の環境対策	9%	9%	10%	9%		13%	9%	9%	
	地域コミュニティの強化	9%	10%	10%	6%		9%	9%	10%	
	サブアーナの建設を含む文化・スポーツ環境・施設の充実	8%	24%	1%	3%		29%	2%	13%	
	その他	7%	4%	10%	5%		8%	8%	5%	
わからない	2%	1%	1%	4%		2%	0%	6%		
無回答	0%				50%				25%	
計	490%	502%	511%	447%	300%	501%	494%	473%	325%	

1. サブアーナ建設に「賛成」とした回答者(問1)についてみると、サブアーナ建設の優先度(問2)は「どちらとも言えない」が121人(41%)、「低い」が93人(31%)、「高い」が83人(28%)となっている。また、優先度が高いと思う市の行政課題(問3)としては、「蓮田駅周辺のにぎわいづくり」が41%と最も多く、一方で、「サブアーナの建設を含む文化・スポーツ環境・施設の充実」が24%と、19課題中12番目であった。
2. 市の行政課題の中でサブアーナの優先順位が「高い」とした回答者(問2)についてみると、優先課題が高いと思う市の行政課題(問3)としては、「学校・公園など公共施設の整備・充実」が44%と最も多く、一方で、「サブアーナの建設を含む文化・スポーツ環境・施設の充実」が29%と、19課題中9番目であった。